

軍もよまをいではあつた。  
更に在野聯盟をば、その例保部に加増して、  
我々が連年の立場に於て、大に愛護されるの  
強の下に、総聯合が勝つて、を言つてゐるのに對して  
如何に考へるか。

答 奥平三三(本部)

日本労働部への答は、全線的拡大強  
化の爲に、断じて在野愛護の必要はなきを主張して  
我々の力の及ぶに至るまで、大に愛護されるものがある、  
保部部も未だ完全な組織を持つてゐるものではない、  
その決定は将来に残すところがある問題である、こゝで  
是れを述べたのであつた。

質 土田(大政)

今在るべき問題が甚だ起する時、労働部  
に加盟せざるが爲め、我々の闘争力が弱めらるる事は  
ないか。例はエド、フィンメン 歓迎問題の如き。

答 森栄(本部)

総聯合には純然自体の強化と、労働階級  
全体の拡大強化との二つの任務がある。労働部  
に在る事は、他の強固の指導下に在る様に  
向ふべきが、断じて五指をふるべきでない。  
労働部が不定な思想を有すると、その小  
中から階級的な魂を打ち込んで、是れを行  
はよいかう、  
この主義を解決の種を養ふ